

社会福祉法人 <sup>財団</sup> 豊田済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル C-4：呼吸器衛生・咳エチケット		
文書番号	感対-共手-C 標準予防策 4-001-170901	ページ	1 / 2

### 文書改訂履歴

版数	改訂頁	改訂内容	作成日 作成者	承認日 承認者
1	一	新規発行	2017.9.1	2017.9.1
			小美野 勝	長原 光

社会福祉法人 <sup>豊</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル C-4：呼吸器衛生・咳エチケット		
文書番号	感対-共手-C 標準予防策 4-001-170901	ページ	2 / 2

## C-4：呼吸器衛生/咳エチケット

### I. 目的

- 呼吸器症状のある人の気道分泌物を封じ込め、呼吸器感染症の病原体の伝播を予防する。

### II. 方法

- 咳をしている人から 1.5～2m 離れる
- 自分が咳をしている場合は、なるべく集団を避ける
- 集団にいる場合は、マスクを着用する
- 咳やくしゃみは、ティッシュで口や鼻を覆う
- 使用したティッシュはすぐに廃棄する
- ティッシュを捨てたら、すぐに手指衛生をする

### III. 患者・面会者への指導

- 患者や面会者に呼吸器症状がある場合は、申告するよう協力を依頼し、マスクの着用や手指衛生の励行を説明する。